



Gakugei 東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

日本語政策論

第9回

第2单元 歴史から日本語教育の論点争点を考える⑤

歴史からの教訓: 私たちは歴史から何を学ぶか

コメントスクリーンの用意もおねがいします。

論点争点の視点を「歴史」から探る

植民地における「日本語」の教育は、「1つの国家、1つの言語、1つの民族」という「国民国家像」の延長上の中で「同化政策」として行われてきた

「日本人」という共同体はどのように作られてきたのか？

植民地の時代、植民地は基本的に「同化」の政策がとられてきた。五族協和・八紘一宇などと言われたが、結果的には「日本人」枠の拡大だった。またその中で矛盾も生まれた。

「日本語の規範」はどのように作られてきたのか？

大東亜共栄圏の拡大の中で、日本語は中心言語となり、共同体感覚の醸成のために「日本語」は同化の道具となった。

「言語教育」はどのように関わってきたのか？

言語教育は「国語教育」（植民地内。満州では名目上は「日本語教育」と呼ばれた）として、植民地下の学校で教えられた。国語教育として、日本語教育が行われた。

時代に普遍的な
教師と政策との関係

一方、一部ではあるが良心的な教師の存在はどこの時代にもおり、教師は必ずしも「政策」の実行者という役割だけではなく、ケアの面から教育を捉えることもありうる

活動1

「同化（文化侵略）」か「交流（国際交流）」か？

日本語教育は、植民地同化政策の前衛だったのか、
それとも、民族融和と交流の前衛だったのか？

Q1

戦前に比べて、戦後は「同化政策」はなくなったのだろうか？

Q2

どのような日本語教育をすることが「同化」を乗り越えることにつながるだろうか？

Q3

日本語教育の「歴史」から私たちは何を学べたか？

Q4

他にどのような観点をもてるか？→次週の授業へ

活動1

戦後は「同化（文化侵略）」か「交流（国際交流）」か？

日本語教育は、植民地同化政策の前衛だったのか、それとも、民族融和と交流の前衛だったのか？

資料B

「学校」という場所では

中国から来た小学校6年生のAさん。日本語取り出し教室で、小学校の先生と家庭科の宿題プリントを行っている。まだ来て3ヶ月。日本語取り出し教室では、ポケトークを使って先生とやり取りをすることも多い。ポケトークはかなり正確な翻訳をするのだが、ときどき誤訳をする。これが逆に面白い。

昨日食べたものの中で「体の調子を整える」ものに分類しようとして、Aさん、「上海青」と書く。これをプリントに書いた言葉を日本語にしたいのだけれど、ポケトークは「上海青」を日本語にできない。

ポケトークを駆使して子どもが説明し、先生も調べ、それが「上海青菜」と呼ばれる上海郊外で生産される青菜だということが判明。「なるほどー」と先生とAさん。ただ、それを今度は日本語でどう書くかで困る。

「上海菜」にするといい感じ。でも担任の先生はこれじゃわからないかも知れない。「上海の青菜みたいなもの」とするべきかどうか… 最終的に後者に。自分の言語の資源を最大限駆使し合って学ぶいい時間。

ただ最後にプリントの中に書いてあった中国語の部分、Aさんはすべて消しゴムで見えなくなるくらいに丁寧に消しきってしまった。「ぜんぶ中国語の所、Aちゃんいつも消すんですよね」と先生。

（南浦のフィールドワークから）

なぜAさんは自分の言語資源を駆使して作成した素敵なプリントなのに中国語の部分を全部消してしまうのだろうか？

活動1

戦後は「同化（文化侵略）」か「交流（国際交流）」か？

日本語教育は、植民地同化政策の前衛だったのか、それとも、民族融和と交流の前衛だったのか？

資料B

「学校」という場所では



活動1

戦後は「同化（文化侵略）」か「交流（国際交流）」か？

日本語教育は、植民地同化政策の前衛だったのか、それとも、民族融和と交流の前衛だったのか？

資料C

省庁での「国籍」の取り扱い

重国籍者は
国籍の**選択**を!!



CHOICE

はっきりさせよう
あなたの国籍

詳しいことは、最寄りの市区町村役場、法務省または大使館・領事館にお尋ねください。

法務省

国籍選択は
重国籍者
の大切な義務です



重国籍者とは
—確かめましょう あなたの国籍—

- 外国で生まれた方や親が外国国籍の方は**重国籍**の可能性があります
- 上記以外にも、婚姻や認知等により**重国籍**となる場合があります
- 例えば、平成18年度中に出生した子の**100人に1人以上が重国籍者**です

詳しいことは、最寄りの市区町村役場、法務省又は大使館・領事館にお尋ねください。

法務省

活動1

戦後は「同化（文化侵略）」か「交流（国際交流）」か？

日本語教育は、植民地同化政策の前衛だったのか、それとも、民族融和と交流の前衛だったのか？

資料A

国会議論の議事録から

1970年代後半 中国残留孤児とその子弟の引き揚げに関する国会議論

①言葉ができぬということは大勢の中におりましても、まさに孤独な世界でございまして、まず言葉を習得していただく。もうこれしかございません。そういうことではやはりこの問題は厚生省だけではできませんし、文部省とも十分連絡して、言葉を覚えてもらう。そして1日も早く日本の風俗習慣に溶け込んでいただく。もうこれしかないと思います。一番先にやることは。

（参議院社会労働委員会 厚生大臣）

1980年代後半 好景気に伴う外国人の増加、留学（就学）生の増加に伴う国会議論

②本当に日本語を勉強して積極的にわが国で学習に励もうという外国人に対しましては、これを積極的に受け入れて、今後とも質の高い学習の機会を作っていくことが必要であろうということが基本的な考えです（衆議院文教委員会 議員）

活動2

戦後は「同化（文化侵略）」か「交流（国際交流）」か？

日本語教育は、植民地同化政策の前衛だったのか、それとも、民族融和と交流の前衛だったのか？

Q2

戦後も「同化」が消えたわけではない。

しかし教師は常に「政策の推進者」というわけでもない（前回の学び）
ともすると「同化」になりがちな社会の中で日本語教師はどうするか？

「日本語教育あるある」な以下の授業だが

…こうした中に「ともすると同化につながりかねない」要素はあるだろうか。

技能実習生に対して

当該会社の考え方、日本の会社文化を教えて
会社の一員として参加できるようになるために
研修担当者が会社の考え方などを伝える授業

地域の外国人に対して

地域社会の一員として行動ができるようになるために
地域のボランティアが教師となって、
ゴミの分別の仕組みを日本語の学びを通して伝える授業

外国から来た子どもたちに対して

学校の授業に参加できるようになるため
ボランティアとして宿題やテストの間違ったところを教える
授業

実際

「よかれ」と思って
こうした授業を推進しがち
だが…？

活動2

戦後も「同化」が消えたわけではない。

しかし教師は常に「政策の推進者」というわけでもない（前回の学び）

ともすると「同化」になりがちな社会の中で日本語教師はどうするか？

日本語教育からの試み，を見てみましょう



A 奥多摩日本語学校（動画）



B 福島FAPの活動（動画）



C にほんご
おしゃべりのたね（教科書）

3つの授業の共通点を探ろう：次のような観点をもって見てみましょう

観点1 目標に着目せよ！

3つの資料を見て、その授業で学習者がどのような力をつけることをねらっているか？

観点2 活動の特徴を見いだせ！

3つの資料を見て、どのような活動がそこで設定されているか？

観点3 教え手と学び手の関係を考えよ！

教師と学習者のあいだにどのような関係があるか？

戦後も「同化」が消えたわけではない。

しかし教師は常に「政策の推進者」というわけでもない（前回の学び）
ともすると「同化」になりがちな社会の中で日本語教師はどうするか？

対話的

教え手と
学び手の
関係が流動的
双方向的
「教える/学ぶ」
の関係が不明確



A 奥多摩日本語学校
(動画)



B 福島FAPの活動
(動画)



C にほんご
おしゃべりのたね
(教科書)

「対話的」(一方的)か「伝達的」(双方向的)か
以外に、授業を考える発想の違いはあるでしょうか？

教え手と
学び手の
関係が固定的
一方的
「教える/学ぶ」

伝達的

技能実習生に対して
当該会社の考え方、日本の
会社文化を教えて
会社の一員として参加で
きるようになるために
研修担当者が会社用語、
考え方などを伝える授業

地域の外国人に対して
地域社会の一員として行動が
できるようになるために
地域のボランティアが教師と
なって、ゴミの分別の仕組
み、出し方を日本語の学びと
ともに伝える授業

外国から来た子どもたち
に対して
学校の授業に参加できる
ようになるため
ボランティアとして宿題
やテストの間違ったところ
を教える授業

戦後も「同化」が消えたわけではない。

しかし教師は常に「政策の推進者」というわけでもない（前回の学び） ともすると「同化」になりがちな社会の中で日本語教師はどうするか

対話的

教え手と
学び手の
関係が流動的
双方向的
「教える/学ぶ」
の関係が不明確



A 奥多摩日本語学校
(動画)



B 福島FAPの活動
(動画)



C にほんご
おしゃべりのたね
(教科書)

教え手と
学び手の
関係が固定的
一方向的
「教える/学ぶ」

伝達の

技能実習生に対して
当該会社の考え方、日本の
会社文化を教えて
会社の一員として参加で
きるようになるために
研修担当者が会社用語、
考え方などを伝える授業

外国から来た子どもたち
に対して
学校の授業に参加できる
ようになるため
ボランティアとして宿題
やテストの間違ったところ
を教える授業

地域の外国人に対して
地域社会の一員として行動が
できるようになるために
地域のボランティアが教師と
なって、ゴミの分別の仕組
み、出し方を日本語の学びと
ともに伝える授業

社会化

ある社会や文化の
中の一員になる
ことをめざす

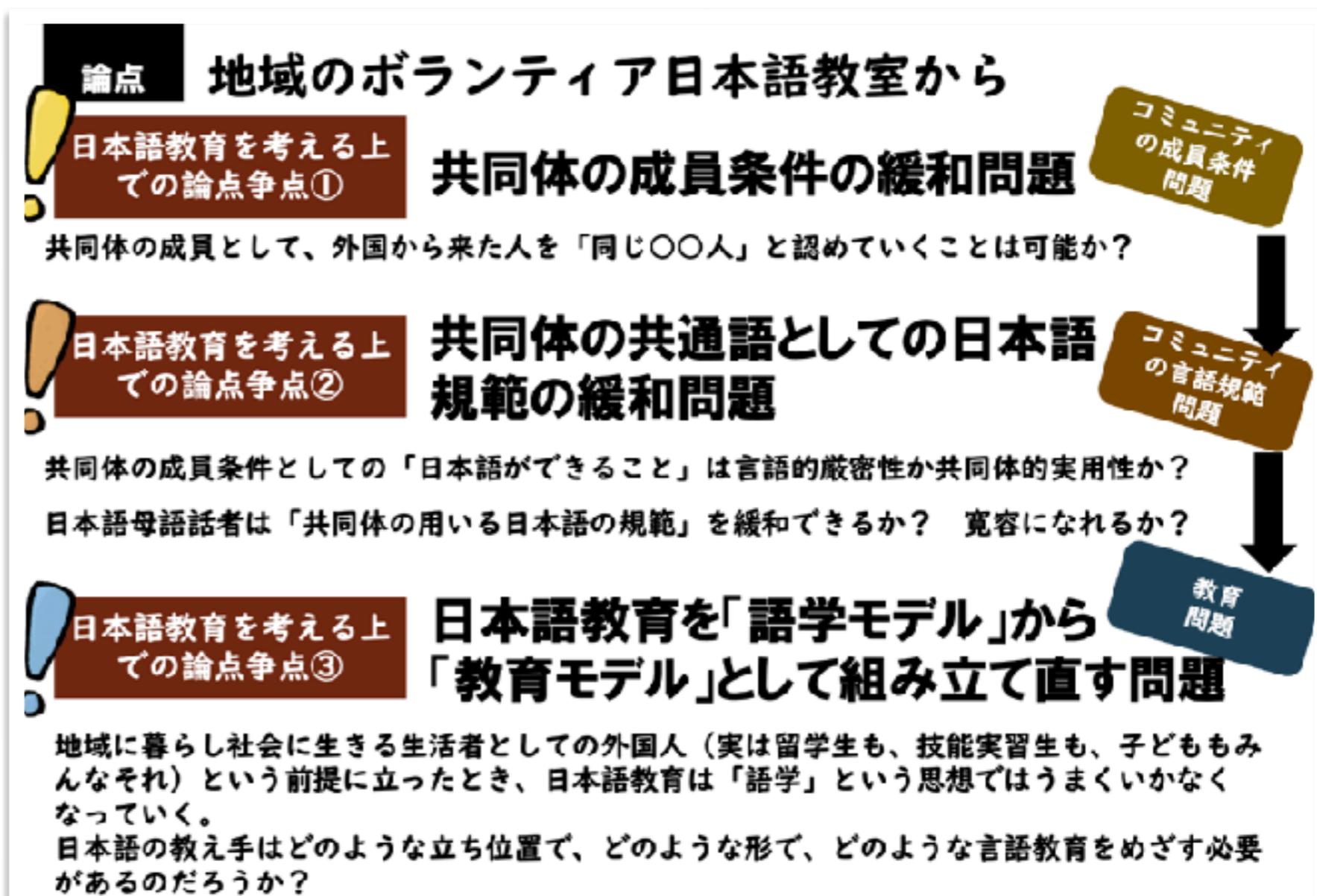
単にある社会や文化の中に
包括されるのではなく
考えて、新しいものをつくる
力を持つ人になることをめざす

主体化

「日本語教育の近代史」から、私たちは何を学ぶか？

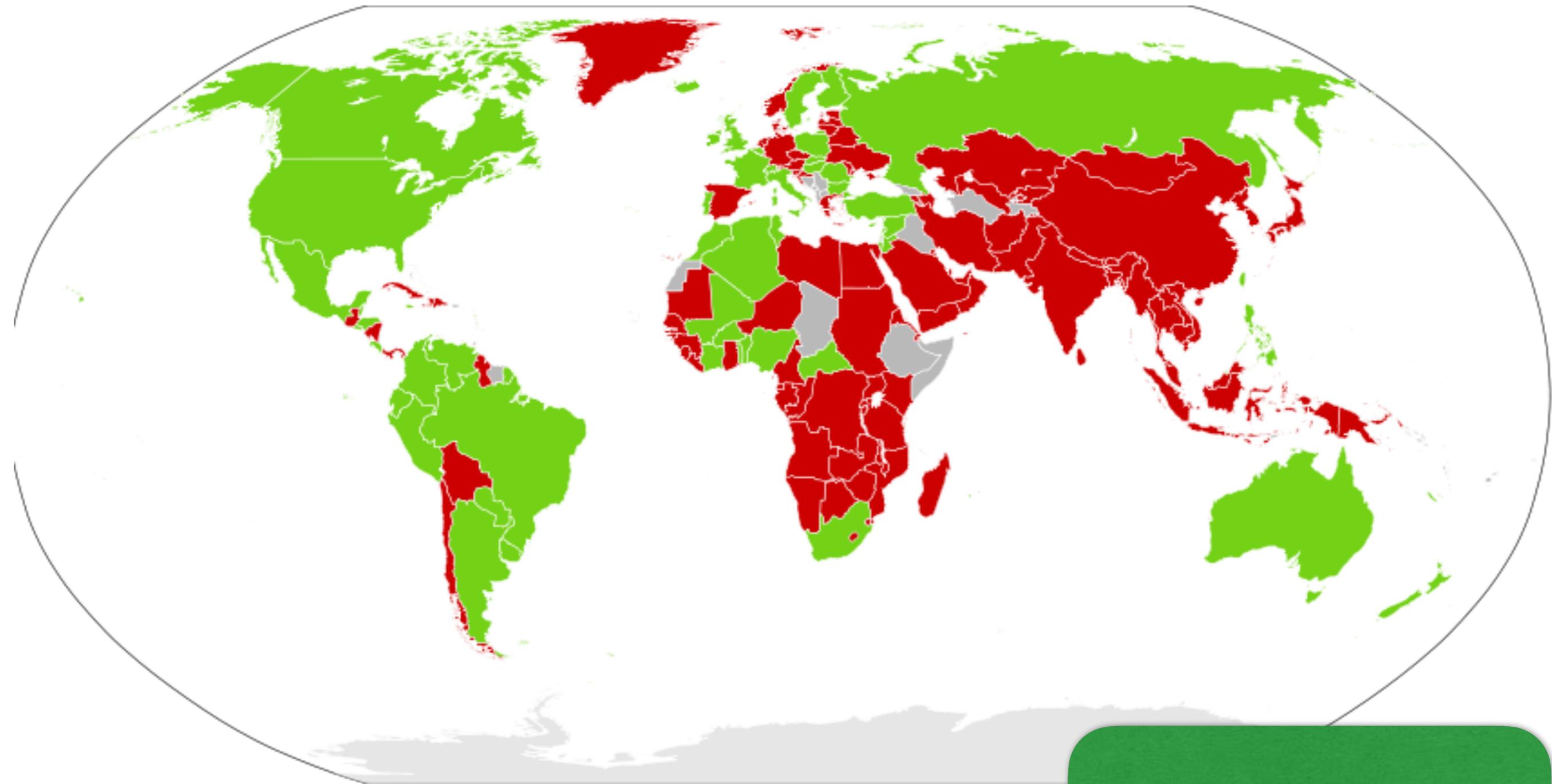
「日本語教育をどうすればいいのか」という観点から、私たちは明治～戦後を見てきました。そこから論点争点を今後も考え続けていくにあたって「歴史」から学んだことを「日本語教育史からの教訓」という形で、3つ、「教訓」を書きましょう。

- ①TEAMSで「返信」の形式で「教訓」を3つ、箇条書きで書きましょう（10分）
- ②書いた教訓を、「中間レポート」の自分の提出したものの末尾にメモとして「3 歴史から得た教訓」として3つ貼り付けましょう（期末レポートで用います）



活動3

戦後も「同化」が消えたわけではない。
ともすると「同化」になりがちな社会の中で日本語教師はどうするか？



イギリス 1949
フランス 1973
カナダ 1976

ベルギー 2010
ハイチ 2011
ニジェール 2012

「二重国籍」を
認めている国

「複数言語で生きる人と社会の可能性」 座談会

星野ルネさん

カメルーン生まれ。母親の再婚と共に小学校の時に兵庫県に転校してきました。

『アフリカ少年が日本で育った結果』など、漫画家として活躍

シラちゃん・マヌーさん

吉本興業所属の芸人で国際夫婦漫才ユニット「フランポネ」をしています。シラちゃんはイタリア生まれのスイス育ち。そして今日本で日本語漫才と多言語漫才をしています。

堀佳月さん

千葉大学教職大学院2年生。日本で生まれた日本と中国のダブルです。学部時代、カナダに留学にも行き、来年からは中学校英語教師です。

澤田光穂子さん

小学校低学年で両親の仕事の関係でアメリカで過ごし、大学は日本の大学を卒業し、大学院をハワイ大学で終了して今に至ります。

	前半(30分)	後半(30分)
星野ルネさん	グループ1 司会・記録・対話	グループ2 司会・記録・対話
堀佳月さん	グループ2 司会・記録・対話	グループ3 司会・記録・対話
フランポネさん	グループ3 司会・記録・対話	グループ4 司会・記録・対話
澤田光穂子さん	グループ4 司会・記録・対話	グループ1 司会・記録・対話

係を決める

司会者，記録係，積極的に質問をする係など

(うまくアクセスできないなどのときのために，副司会なども)

*画面は基本的に開けましょう。相手とのやりとりをするときに随分違うと思います。

*「教師は自分の表情に責任を持つ！^^」ノンバーバル，大事です。

*うまくいかなくてOK. たどたどしい感じは対話で大事。

「複数の世界・言語・文化を行き来する」感覚を得るためにどんなことを聞くといいか？

- ✓そもそもどうして複数言語を話せるようになったんでしょうか？
- ✓〇〇さんは複数の言語を話せるってどういう感じ？
- ✓日本に来たときどんな感覚だった？
- ✓日本が「モノリンガル社会」から抜けるためには何が必要？